



座間市議会だより

No.150

平成21年11月15日

発行 座間市議会

編集 議会だより編集委員会

座間市緑ヶ丘一丁目1番1号

電話046(252)8872(直通)

9月定例会

新たな議会構成決まる

第三回定例会は八月二十八日に開会し、市長提出議案十一件、議員提出議案十五件、請願一件、陳情五件を審議し、九月二十四日に閉会しました。この議会では、平成二十一年度一般会計補正予算や条例改正、さらに水道事業会計決算の認定など多岐にわたり活発に議論されました。また、正副議長をはじめとする役員の改選が行われました。

平成20年度水道事業会計決算を認定



稲穂ゆれる座間の秋

一般会計補正予算

低迷が続く最近の経済動向の中、八月の月例経済報告では、景気の基調判断を「厳しい状況にあるが持ち直しの動きが見られる」とする中で、六月の景気底打ち宣言に対しては「景気は底を打ったが水準は低く、まさに正念場にある」と指摘されており、本市の財政状況も、歳入の根幹である市民税については、昨年来の経済危機により当初予算においては前年度予算を大幅に下回る予算措置となつていきます。個人市民税については所得の減少により、また法人市民税についても大変厳しい状況にあることから、当初予算額の確保については相当厳しいとの報告が市長からありました。

平成二十一年度座間市一般会計補正予算（第四号）については、八億八千四百九千円を追加し、総額を三百二十二億四千六百五十五万二千円とするものです。

歳入における主な内容は、普通交付税と国庫支出金の交付決定によるものです。

歳出における主な内容は、総務費、民生費（子育て応援特別手当など）、教育費などの増が主な内容となっております。

市議会では、それぞれの内容について慎重に審議した結果、九月二十四日の本会議で可決しました。

水道事業会計決算

地下水の状況ですが、年間降水量が千九百三十九ミリメートルで過去十年間の平均を上回りました。A1観測井での地下水位は夏場でもマイナスイオンメートルを下回ることなく、年間を通じて安定した給水が図られました。

年間配水量は千四百八万九千八百六十立方メートルで、前年度より十五万六千五百八十三立方メートル減少し、同じく年間有収水量についても千三百五十五万七千九百九十八立方メートルで、前年度より二十四万五千二百四十二立方メートルの減少となっております。また、一日最大配水量は、十二月三十一日に記録した四万三千二百八十五立方メートルとなっております。

なお、平成二十一年度も引き続き県営水道を受水しています。

その他、施設整備の状況、収益的収入及び支出の内容、営業外費用や特別損失に続き、資本的収入及び支出の内容、さらに、営業収益と営業外収益、特別損益、当年度未処分利益剰余金、消費税及び地方消費税の納付額などについて市長から説明がありました。市議会では、監査委員の決算審査意見書も参考に慎重に審議した結果、九月二十四日の本会議で決算を認定しました。

本会議のインターネット映像配信を開始！

十一月二十六日（木）に開会する第四回（十二月）定例会から、本会議のインターネット映像配信を始めます。市

ホームページ「座間市議会」から「インターネット中継」をクリックすると、視聴方法の選択画面に進みますので、

インターネットに接続できるパソコンでご視聴ください。配信方法は、本会議開催中に議場の映像をそのまま視聴

できる「生中継」と、開催日や発言者などから視聴したい映像を検索できる「録画中継」の二種類です。
なお、録画中継映像は、生中継終了後、おおむね一週間後に視聴できます。

議長 池田徳晴氏
副議長 稲垣敏治氏
を 選 出

九月二十四日の本会議で正副議長の選挙を行い、議長に池田徳晴氏、副議長に稲垣敏治氏をそれぞれ選出しました。

毎年九月定例会で役員改選を行っており、本年も正副議長のほか各委員会委員などすべての役員改選を行いました。

就任あいさつ



池田徳晴議長



稲垣敏治副議長

市民の皆様には、日ごろから市議会への深いご理解と多大なるご協力を賜り、心から感謝申し上げます。
このたび、市議会での選挙により選出いただき、議長及び副議長に就任いたしました。大変光栄に存じますと共に、職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。
日本経済が低迷する中、市民生活は大変厳しく、本市の財政も非常に逼迫しています。このようなときこそ、市民の皆様への要望を的確にとらえ市政に反映させていくことが議会の責務と考えます。
微力ではございますが、市民生活向上と市政発展のために一層専心努力してまいりますので、一層のご支援を心よりお願い申し上げます。

人権擁護委員に森田洋一氏を推薦

九月二十四日の本会議に、人権擁護委員の任期満了に伴い、引き続き森田洋一氏（南栗原一丁目）を推薦したいとの議案が提出され、議会では適任者と認め、全員賛成で森田氏の推薦に同意しました。